

アイリス Letter

保護者の皆様へ

2020年 7月 31日発行
第2号
広島女学院中学高等学校



聖書のことば

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

テサロニケの信徒への手紙一 5章 16～18節

例年では、すでに夏休みとなり、うだるような暑さの中ですが、今年は続く梅雨の中でコロナ禍の中で経験したことのない毎日を過ごしています。休校もあり、いまだ自分が落ち着かないままに一学期の終業の日を迎える生徒もいると思います。8月2日から23日までの3週間の短い夏休みですが、心と身体の疲れを癒してください。ご家庭では、引き続き検温など、体調を整えること、すなわち命を守ることを大切にしていきたいと思います。

2学期には、行事週間、キリスト教強調週間、文化祭、讚美歌コンクール、クリスマス礼拝など大変重要なものが予定されていましたが、中止・延期したり、縮小する形でしか行うことができません。とても残念ですし、悲しいです。個人のレベルにおいても計画変更を余儀なくされていると思います。悲しいというよりくやしさを感じている人もいるかもしれません。

5月26日の中国新聞に、卒業生の焼家直絵さんの『新型コロナと食糧危機』と題した意見が掲載されていました。焼家さんは、現在、国連世界食糧計画(WFP)日本事務所代表をされています。2014年のエボラ出血熱の対応として、アフリカで緊急食糧支援を行っていたときのことを次のように書かれています。

『この時、支援を受け取った女性から「私たちは取り残されていると思っていた。来てくれてありがとう」と声をかけられた。今も忘れられない。体力、精神的にも厳しい状況であったが、現地に感染が収まるまで駐在し、「誰も取り残さない」という国連職員としての使命を再認識した。』

この焼家さんの生き方に、本当に尊くぶれない軸を持っていると感じるでしょう。私たちは、毎日の勉強や多くの人との関りや今置かれている環境に対して、喜び、祈り、感謝をもって臨んでいることは多くないと思います。きつい、悲しい、腹立たしいなど日常茶飯事かもしれません。しかし、そこであきらめず、喜び、祈り、感謝の気持ちをもって始める、そんな悪戦苦闘の末に、本当のことが見えてくると思います。

最後になりましたが、8月は祈りのときです。ご家庭で、平和や命についてお話する時間を持っていただくよう、お願いいたします。

(校長)



平和を祈る週（6/29～7/4）

今年の平和を祈る週は、ホールでの特別礼拝も、昼の集いもできないという、今までにない状況下で迎えました。けれどそのような中でこそ、女学院が大切にしてきた平和への姿勢が試されたのかもしれない。

中学礼拝委員会で、千羽鶴をつなぐ作業は密になるから透明ケースに入れよう、昼の集いの代わりに、放送で平和についての朗読をしようと、爆心地に一番近い被爆建物、平和公園レストハウスに展示されることになった被爆ピアノとその持ち主、女学院の先輩で、19歳で原爆の犠牲となった河本明子さんを紹介する中国新聞の記事を朗読しました。

高校宗教委員会では、放送で平和についての音楽を流そうと、河本明子さんの被爆ピアノによる演奏と、イタリアのコロナ医療支援の曲を取り上げました。また、国境なき医師団を通じ海外のコロナ医療支援の募金（38,000円）、国内ホームレス支援団体に送る不要マスク収集（261枚）を行いました。生徒のみなさんの、限られた中でできることを工夫する柔軟な姿勢に励まされました。

特別礼拝の代わりに、週間中の放送礼拝で月下星志先生（広島東部教会牧師、本年度高2聖書科講師）より平和についてのメッセージを語っていただきました。高校では、メジャー



リーグ初のアフリカ系アメリカ人選手、ジャッキー・ロビンソンが契約時に監督から、「やり返す勇氣よりも、やり返さない勇氣を持つ」という約束を交わしたことが紹介されました。

「彼らはどんなことがあっても、やり返さず、野球で結果を出すことで、人種差別の壁を乗り越える闘いをした。“やり返さない勇氣”とは辛抱すること、目的のためにあえて辛さを抱えること。イエスもまた、捕えられて、侮辱され、十字架にかけられても決して人を恨むことなく、辛さを抱え、神が望むことは何か、この世で人と人が共に生きるために何が必要かを考えた。人の辛さを想像し、共に担うつながりの中に、喜びが生まれ、平和な社会になっていくのではないか」と語られました。

中学では、『アンパンマン』に登場するアカチャンマンを取り上げ、本当の強さとは、戦いに勝ち、強さを誇るのではなく、自分と他人の弱さを受け入れ、共に担うことではないかと、また沖縄で出会った平和のために闘っているおじい、おばあちが、たとえ意見が合わない相手でも対立するのではなく向き合い、話し合える関係を築いている姿を紹介されました。

「イエスが『平和を実現する者は幸いである』と語られた丘からは、オリーブ畑やブドウ畑、ガリラヤ湖という神が与えてくださった命を育む自然と共に生きる光景が2000年前と変わらず広がっている。一方で今も昔も、強さを誇り、命を削り合う現実がある。だれもが持っている弱さを互いに補い合い、支えあうつながりこそが、イエスの語った平和であり、どんな時代においても最強のものではないか。みなさんも自分の弱さを見つけて、たくさんのつながりの中で、その弱さがいきいきと活かされるようにと願っています。」と語られました。今年も豊かな学びと活動の1週間を与えられたことを感謝したいと思います。

（宗教教育委員会）



8・6 平和記念礼拝（オンライン）のご案内

毎年8月6日には原爆の犠牲となった350余名の生徒、教職員の方々を追悼し、平和を祈る時を持っています。例年、ゲーンズホールで平和記念礼拝を行なっておりますが、今年はコロナ禍にあり、感染拡大が止まらない状況ですので、オンラインで実施することに致しました。



例年は午後の礼拝ですが、今年は午前8時10分に開始し、終了予定時刻は9時頃です。各クラスのグーグルクラスルーム Meet にて行ないます。詳細は別途配布（配信）をご覧ください。保護者の皆さまもお子さまと一緒にぜひご参加ください。（宗教教育委員会）

生徒会活動（中学）

中学生徒会各委員会の、今年度の年間目標を紹介します。

- | | |
|---------|--|
| 評議会 | 皆が団結して、一人ひとりの意見を共有し、よりよい女学院を築く。 |
| 礼拝委員 | ①生徒礼拝などの準備を責任をもって行う。
②礼拝、行事、奉仕活動を通して隣人愛を身につける。
③クラス全体に情報がしっかり伝わるようにする。 |
| 美化委員会 | 効率よく、工夫して、すみずみまで気持ちのよい女学院へ。 |
| 保健委員会 | 楽しく、元気に、健康第一!! |
| 図書委員会 | 図書館をもっと利用しやすくして、沢山のの人に本を好きになってもらえるように頑張る。 |
| 体育委員会 | 仕事に責任を持ち、みんなが安全に、元気に楽しく体育をできるようにします。 |
| 選挙管理委員会 | ・新しい生活様式に合うように選挙の形を考えていく。
・選挙を公正に進める。 |
| 生徒会会計 | 公正かつ正確に。 |
| 五人委員会 | 楽しく、一致団結した生徒会を作る。 |

（中学生徒会顧問）

オンラインるんるん

毎年、小学生の皆さんには、実際に学校に来ていただき色々なプログラムに参加してもらっていましたが、今年度のオープンスクールは、感染予防のためオンラインで行いました。

初めてのオンラインでの実施となりましたので、どのようにすれば小学生のみなさんに楽しんでもらえるか、また、女学院の良さを知ってもらえるか試行錯誤しながら準備をすすめました。梅雨の時期に入り、コロナ感染症に加えて大雨も心配され、当日参加してくれる高校生が無事にオンラインで小学生のみなさんへメッセージを送ることができるか、ギリギリまで不安がありましたが、無事に実施することができました。内容は学校紹介動画、リアルタイムでの質問解答、受験に向けてのメッセージなど、例年に比べると私たちの一方的な情報発信となりましたが、終了後にお願いしたアンケート結果を見ると、「実際に女学院へ行ってみたい!!」という気持ちが高まったと感想を寄せて下さる方が多くいらっしゃいました。

秋に実施予定のオープンスクールでは、ぜひとも学校に来ていただき、もっともっと女学院を知ってもらえたらと思っています。小学生のみなさんの笑顔を直接見る事が出来る日を心待ちにしています。ご協力して下さったみなさん、ありがとうございました。

(広報部)

生徒支援部より

コロナ感染拡大の影響で、今学期は未だ嘗てないスタートとなりました。長い休校の中で、中学生・高校生としての生活リズムが整っていない人や、漠然とした不安を抱いている人も多いのではないかと心配しています。

自分の「生活」をマネジメントする力は、「学び」をマネジメントする力であり、これからの「自分の将来」を切り拓いていく力にも繋がると確信しています。例年よりも短い夏休みではありますが、別に配布している夏休みの過ごし方のプリントをよく読んで、生活リズムを整えて実りある夏休みにして下さい。ご家庭でも生活面の指導を継続的に宜しく願います。

コロナ禍の中、マナーの在り方も変わってきています。ソーシャルディスタンスを保ち、公共交通機関や公共の場では大きな声でおしゃべりしない等、互いのことを思いやる心を忘れないようにして下さい。周囲のために自分がどう行動するのかを考える、そう考えると「隣人愛」という点では、心がけることはコロナ禍前と変わらないと感じます。

また、SNSを中心としたスマホの利用については自分でコントロールしましょう。文明の利器に依存し、「使う側」ではなく「使われる側」になってしまっていて、生活リズムが大きく乱れる可能性があるのもこの時期です。一説にはスマホ依存は学習能力の低下に繋がるという研究例もあるそうです。つまり、勉強時間をとってもそれに見合った学力が身につかない状態になってしまう可能性があるということです。

スマホやSNSについては、例年ホールで実施していた父親母親教室の「SNSに関する講演」がコロナ感染の影響で実施できませんでしたので、保護者の方向けに講演動画を配信致します。別に配信するさくら連絡網の内容を参照の上、是非ともアクセスしご視聴下さい。

(生徒支援部)

保健室だより (2)

新型コロナウイルス感染症の終息がまだまだ見えず、不安な日々が続いています。身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いや3密を避ける等の対策を取り入れた生活様式の実践に加え、例年よりもいっそう熱中症に注意が必要な夏を迎えます。

日々、感染症にかからないようにと思いながら対策を行いますが、どんなに対策を行ってもかかる可能性もあります。まずは自己防衛、自己管理の徹底をしていきましょう。

今年度の健康診断は、第一次スクリーニングと尿検査が終了しています。要受診のお手紙をもらった人や、体の症状で気になっていることがある人は、夏休みのうちに受診をしておきましょう。約2か月間の臨時休校を明け、通常登校に戻った6月末～7月初めは、体調不良を訴え保健室に来室する生徒が多くいました。長期の休みは生活リズムが狂いがちになり

ますが、抵抗力や免疫力を高めるためにも、食事、運動、睡眠といった基本の生活リズムを整え、暑い夏を乗り切りましょう。

(保健室)



心の健康（2）

今年の夏はマスク着用で、さらに暑く感じます。太陽がカーッと照りつけて汗がダラダラと流れて、それで元気になる時とあまりの暑さにグターツとなり弱ってしまう時とがあります。暑さは内在する力をパワーアップしたり、心身を弱らせたりします。そこで、自分で気づく心が弱っているサインのいくつかをあげてみます。

- ・理由もなくイライラする。怒りっぽくなった。
- ・いつも疲れた気持ちで、何もする気がしない。
- ・下痢・便秘・腹痛・脱毛など身体症状が多い。
- ・人に会うのが怖く、人間関係を避ける。
- ・気が滅入る。悲観的。
- ・眠れない。すぐ目が覚める。
- ・人を全く信用できなくなった
- ・最近、忘れ物や落とし物が多くなった。
- ・食欲不振や過食など摂食のバランスが崩れた。



このような状態を見過ごさないで、自分や子どもの心と身体を大切にサインとして受け取ることは必要です。夏休み中のカウンセリングルームは月曜日に開室します。希望される方は、お申込みください。（カウンセラー）

生徒の活躍

《高校》

◇高校新体操部

*広島県高等学校総合体育大会代替大会 新体操の部

団体 1位 広島女学院A
2位 広島女学院B

個人総合

一部 M. H（3-E）8位

◇高校水泳部

*広島県高校総体代替大会兼県選手権水泳競技大会

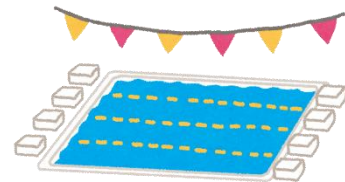
個人種目 G. R（3-D）
100m背泳ぎ 7位
G. R（3-D）
200m背泳ぎ 8位

個人種目別クラブ

二部 S. Y（2-B）1位
N. C（1-D）2位
D. M（1-B）3位

個人種目別リボン

二部 F. H（2-D）1位
F. R（2-E）2位



高校放送部からのお知らせ

6月27日（土）7：40～7：58、高校放送部のN. Tさん（3-B）がNHKの「おはよう中国」というラジオ番組に出演しました。NHKのアナウンサーで、女学院の卒業生でもある杉浦圭子さんに何度も指導していただいて臨みました。番組では、被爆体験についての手記を5分間ほど朗読し、中国5県に向けて放送されました。（放送部）

高2英語エッセイライティングコンテスト優秀作品

第16回校内英語エッセイライティングコンテストは例年3学期末の特別時間割中に実施していますが、今年度はコロナの影響により、3月の休校期間中に各家庭で取り組むこととしました。今回のトピックは次のとおりで、生徒は好きなもの一つを選び、200～400語の英語で自分の考えを表現しました。

1. 世界を救うため、2兆円の予算が自由に使えることになりました。あなたのプランは？
2. 「皇族は日本社会にとって大切である」この意見に賛成か反対か。その理由は？
3. もしもあなたが日本の総理大臣だったら、どのような変革を行なうか。

読み応えのある作品が多く審査は大変でしたが、最優秀賞、優秀賞が下記の通り選ばれました。(コンテスト実施時は高2でしたが、高3で記載しています)

Best Essays (最優秀賞)

M. Y (3-B) Y. A (3-C) Y. R (3-C) K. Y (3-D)
B. E (3-D)

Outstanding Essays (優秀賞)

M. S (3-A) M. K (3-A) S. Y (3-C)
O. R (3-D) M. Y (3-E)

英語 α クラス優秀賞

N. Y (3-D) N. N (3-D) K. M (3-E)



(英語科)

2020年度海外研修について

2020年度の海外研修につきまして、現在関係各所と連携を取りながら情報収集に努めております。夏休み中に研修実施の可否について決定し、8月25日(火)に生徒・保護者の皆さまに連絡する予定です。

研修を実施することになりましたら、9月5日(土)午後に海外研修合同説明会を行ないます。

(GEC部)

事務室からのお知らせ

高校保護者の皆さまへ

各都道府県で「高校生等奨学給付金」が用意されています。それぞれ要件が違いますので、文部科学省の一覧でご確認ください。

「高校生等奨学給付金のお問合せ先一覧」

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm

(中高事務室)



今月の聖句

悲しむ人々は、幸いである、その人たちは
慰められる。

マタイによる福音書 5章4節

「人生には悲しみを通じてしか開かない扉がある。」

「孤独の中で悲しんでいる時、人は、時間や空間を超えて広く、深く、他者とつながることができる。」(若松英輔『悲しみの秘儀』より)

新型コロナウイルスの脅威の中で休校が長引き、特に受験を控えている高3の皆さんは、不安と焦りの中にある人が多いかと思えます。でもこの経験をしたからこそ見えてくること、開く扉がある。目の前の現象や情報だけに右往左往するのではなく、もっと大きな視点、深い洞察、目に見えないものへの感性を鍛えてほしいのです。それはきっと受験だけでなく、大学やその後の社会を生きていく上で本当に必要な力になるはずです。

今回のことは、先生も大人たちも、かつて経験したことのない状況です。しかし多かれ少なかれ、人生は順調な時ばかりではなく、なぜ自分がこのような目に遭わなければならないのだろうと嘆きや呻きの中に埋没する時が必ずあります。キリスト教学校である女学院の礼拝や聖書の授業が、そのような人生の危機、自分ではどうすることもできないような壁にぶつかった時の役に立たなければ、その存在価値はないといってしまうでしょう。

(休校中の高3 聖書オンライン授業より
聖書科 T.M)

8月の行事予定表

1	土	終業の日	面接	丁
2	日			
3	月	Ⓜ(高) 補充(勉強会) 高3補習		
4	火			
5	水			
6	木	平和祈念式 平和記念礼拝(オンライン)		
7	金			
8	土	高3 河合マーク模試		
9	日			
10	月	山の日		
11	火			
12	水			
13	木			
14	金	丁 特別休暇		
15	土			
16	日			
17	月	Ⓜ 補充 Ⓜ 補習		
18	火			
19	水			
20	木			
21	金			
22	土			
23	日			
24	月	始業の日		
25	火	休み明けテスト(中1・2・3) 高校授業		
26	水			
27	木			
28	金			
29	土			
30	日	高3河合記述模試		
31	月	中学、高3授業 丁 休み明けテスト(高1・2)~9/1		

NC・・・ノークラブデイ

※行事予定は変更になることがあります

